

広報大洲

きらめき創造

大洲市

—かどぬあい ささえあろ—
—大洲市 広川流域都市—

大洲

チームワークで切符つかむ

2017
No.146

3

がんばる大洲っ子

今月の題字作成者

長浜中学校 3年（現：松山南高等学校 1年）

島田 亜^あ悠^ゆ菜^な さん



私は昨年の4月に松山市の高等学校に進学し、弓道部に入部しました。平日はもちろん土日も弓道の練習に励み、今では少しずつ試合に出る機会が増え、個人戦・団体戦それぞれの楽しさを感じるようになりました。早朝練習もあり大変ですが、努力は無駄にならないと信じて頑張っています。また、時々友達とお気に入りの店に行くなどして、息抜きもしています。

私は中学3年生のとき、中学生海外派遣事業でオーストラリアに行きました。ラジオの英会話講座を聞くなど私なりに勉強しましたが、もっと話せたらよかったですという思いが残り、今でも英語の勉強を頑張っています。そして将来は大学へ進学し、その後海外で学校に行けない子どもたちや、困っている人の役に立つ仕事を就きたいと思っています。

3月の納税など 納期限は3月31日金です。

税 別	3月	4月	5月	6月
市 県 民 税				1期
固 定 資 産 税		1期		
軽 自 動 車 税			全期	
国 民 健 康 保 険 税	9期			

市税などの納付は、便利で安心な「口座振替」を。

現在の大洲

	人の動き(先月比)	交通事故(昨年同期)
人口	44,828人 (-44)	件数 5件(12件)
男	21,431人 (-18)	死者 0人(0人)
女	23,397人 (-26)	負傷者 5人(15人)
世帯数	20,144世帯(-12)	

(2017年1月末現在)

CONTENTS 目次

2ページ	がんばる大洲っ子・今月の表紙
3ページ～	(特集)48年ぶりの悲願達成
6ページ～	おおずニュース
12ページ～	シリーズ
15ページ～	おしらせ
25ページ～	図書館・保健センター・ 心と体の健康ガイド
28ページ	がんばるひと (河辺の未来を考える会)

今月の表紙



64年ぶりに愛媛県で開催される国体の年に、吉報が届きました。

昭和44年の第41回大会以来、2度目の甲子園出場を決めた帝京第五高等学校。春の大舞台での活躍が期待されます。

詳細は3ページからの特集で紹介します。

48年ぶりの悲願達成



谷本校長から出場決定の報告



選手たちに胴上げされる小林監督

歓喜の瞬間

第89回選抜高校野球大会の選考委員会が1月27日(金)、大阪市の毎日新聞大阪本社で行われました。昨年の秋季四国大会で準優勝した帝京第五高等学校の約半世紀ぶり2度目の甲子園出場が決まり、同校は喜びに湧きました。

電話で出場決定の第一報を受けた谷本勝幸校長は、すぐにグラウンドに向かい、練習中の部員に報告。「君たちの苦勞が実った。支えてくれた全ての人への感謝を忘れず、甲子園では校歌が1回でも多く聞けるよう、高みを目指して頑張つてほしい」と激励しました。小林昭則監督いわく「うちには

剛速球投手もホームランバッターもない」なかで、チームワークで勝ち取った切符。選手たちは互いに握手し、声をあげて抱き合うなど大喜びしていました。在校生やOB、地域住民のみなさんの祝福の声を受けながら、胴上げでは監督が「第五」にちなんで5回宙を舞いました。

いざ大舞台へ



主将 宮下 ^{かつとし}勝利 さん

「自分たちの強みを出す」

秋の県大会のように、強みであるチームワークを生かして一つ一つ勝って上に進んでいきたいです。どのチームと対戦しても勝てるよう、日々の努力を続け、みなさんに必死のプレーを見てもらいたいです。



部長 ^{たかたに}高谷 ^{まなぶ}学 さん

「地元の応援に感謝」

出場が決まってから、多くのみなさんに声を掛けていただき、市全体で盛り上げてもらっています。市外出身の選手が多いのですが、選手たちには大洲市の代表だということ意識して、上を目指してほしいです。



監督 小林 ^{あきのり}昭則 さん

「決勝で校歌を歌いたい」

甲子園の良さ、すごさを選手たちに感じてほしいと思っています。一つでも多くの土を踏めば、その後の人生が変わることもあるので、勝利を目指して今までどおり、シンプルな野球を心掛けていきます。

練習、意識高く



「得点圏に走者を進め、1本のヒットで得点するというシンプルな攻撃を」という共通認識で練習に取り組む選手たち。県大会と四国大会で主に先発を担った岡元投手（上段左）について小林監督は、「要所を締める粘り強い投球が持ち味。ピッチャー次第で試合の流れが決まると思う」と、念入りに投球フォームをチェックしていました。



選手たちは、授業態度や私生活など、野球以外にも「準備」「確認」「カバリング」を日ごろから徹底することでコミュニケーションを図り、チームワークを培ってききました。

体力づくりを主としたトレーニングから、現在は大会に向けて、より実践的な練習にシフトしています。「甲子園を楽しむためには、余裕を持つこと。それには練習の積み上げしかない」と、小林監督は話します。

念願の初戦突破、そしてさらなる高みへ。大会は3月19日(日)に甲子園球場で開幕します。

気持ち新たに 大洲市成人式



笑顔の門出

平成28年度

新成人からひとこと



まさみつ
森田 将光さん (肱川町名荷谷)
「やっと大人の仲間入りができてうれしい。仕事でけがをしないように気を付けて、早く一人前になりたい」



奥平ちひろさん (河辺町川上)
「今まで両親をはじめ周りの人に守ってもらった。これからは自分の行動に責任を持ち、そして親孝行したい」



まみこ
東 真実子さん (長浜)
「成人式に母の振り袖を着て出席できたことが、とてもうれしい。4月から就職するので気を引き締めて新生活に臨みたい」



こうすけ
山本 康介さん (柚木)
「今まで親に大切に育ててもらったので、これからは親孝行をしたい。自立して人に迷惑をかけない人になりたい」

平成28年度成人式が1月8日(日)、大洲市民会館で行われ403人の新成人が出席しました。今年度は雨が降るなかでの成人式でしたが、晴れ着やスーツに身を包んだ新成人は、友人たちとの久しぶりの再会を楽しみ、思い出を写真に収めていました。式典の前に行われたアトラクションでは肱川町の大谷文楽が披露され、江戸時代から続く伝統芸能を鑑賞しました。式典で清水市長は「これからの長い人生、いろいろなことがあるが、失敗を恐れずやり遂げてほしい。新しい世界をつくるのはみなさんです」と激励の言葉を送りました。

新成人を代表して山本康介さんが「私たちの門出を祝っていただき感謝の気持ちでいっぱい。成人式を迎えられたのは、家族をはじめ地域の人や先生のおかげ。これから目標に向かって一歩ずつ進みたい」と感謝の言葉を述べました。



をたたえて



大洲市きらめき大賞とは

市の文化の向上発展に関し、特に顕著な業績または成績を取めた個人、団体に贈られるもので、今年度は3個人2団体が表彰されました。



表彰を受ける少彦名神社参籠殿修復実行委員会

大洲から世界を目指して

平成28年度大洲市きらめき大賞表彰式が1月8日(日)、市役所で開催されました。

式では清水市長が「国内のみならず、海外でも素晴らしい成績を取めたみなさんを顕彰できることがうれしい。世界レベルで通用する人が増えれば、地域の活力にもつながっていく。みなさんには、さらに上を目指して頑張ってほしい」と述べました。

最後に、受賞者のみなさんがそれぞれ受賞の喜びと今後の抱負を語りました。

きらめく功績



第8回こども環境大賞 絵画部門

優秀賞

平小学校2年 後藤 ^{あゆむ} 歩武 さん

大好きなザリガニを大きく描きました。これからいろいろな絵を描いてみたいです。



【おおきな ざりがにが とれたよ】

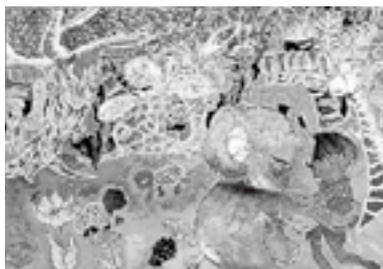


第27回読書感想画中央コンクール
小学校高学年の部

優秀賞

平小学校6年 向井 ^{ひなは} 陽葉 さん

「ぼくと象のものがたり」を読み、絵で表現しました。将来は、絵で人に感動を与える仕事をしたいです。



【ずっといっしょだよ】



第31回「WE LOVE トンボ」絵画コンクール 小学6年生の部

大賞「環境大臣賞」

喜多小学校6年 岡本 ^{くにひろ} 國宏 さん

夏休みに1カ月かけて描きました。トンボをよく研究し、羽を何度も塗り重ねました。



【初飛行の赤トンボ】



ユネスコアジア太平洋文化遺産保全賞

「最優秀賞」

^{すくなひこな} ^{さんろうでん}
少彦名神社参籠殿
修復実行委員会

受賞理由（抜粋）「文化遺産の保全に地域住民が草の根的に取り組んだ模範的な事例」

^{ひでのり}
清水 英範 さん（右）「参籠殿再建のために寄付をいただいたみなさんに感謝し、これからも精進していきたい」

^{おさじま} ^{かつひろ}
箴島 克裕 さん（左）「何とか修復することができた。世界で評価されるものが、この大洲にあることが誇り」



グローバルリンク・シンガポール2016
オーラルセッション部門

「特別賞」

長浜高等学校
水族館部

研究発表タイトル「クラゲ予防クリームの開発とクラゲにおける学習の探求」

^{みほ}
山本 美歩 さん（左）「頑張れたのは周りの人たちのおかげ。受賞の場でみなさんにお礼ができてうれしい」

^{かほ}
重松 夏帆 さん（右）「水族館部の活躍が地域の力になってほしい。今後は新しいことにも挑戦したい」